

令和7年度 古川黎明高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす						
各教科指導目標	国語				地理歴史				公民				数学				理科			
	話すこと、聞くこと、書くこと、読むことの言語活動を通して、言語文化への関心を高め、言葉で伝え合う力や思考力・洞察力を磨き、自身の価値観を広げ、新しいものの見方を獲得し、自己を高め続ける態度・能力を養う。				国や地域が抱える諸課題を、歴史的背景や地理的条件等から総合的に考察することで、歴史的思考力や地理的な見方・考え方を培い、国際社会において主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				めまぐるしく変化する現代社会において、人間としての在り方や生き方についての自覚を促し、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者である市民として必要な知識・スキル・価値観を養う。				事象を数学的論拠に基づいて考察し、論理的に判断し、説明する力を高めることを通して、実生活に数学を積極的に活用する能力や姿勢、及び学習をしようとする態度を育てる。				自然や事物・現象に対する関心を高め、科学的探究活動を実践し、科学的な自然観を育成することによって、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度や真理を研究する態度を育てる。			
	保健体育				芸術				外国語				家庭				情報			
運動の実践を通して、公正・協力・責任・参画への意欲を育てるとともに、健康・安全について理解することを通じて、健康の大切さを知り、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、実践するための資質や能力を育てる。				芸術の幅広い活動を通して、芸術における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わるための技能、表現力、味わう力、愛好する心情、感性、態度、豊かな情操といった資質・能力を育成する。				外国語学習を通して自分の考えを分かりやすく伝える力、相手の立場や文化的背景・考えの違いを、お互い認め合いながらコミュニケーションを図る力を育てることで、広い視野や国際感覚、国際協調の精神を備えた人材を育成する。				家族・福祉に関連する他者との関わり方、衣食住等の知識と技術や、実験・実習などの体験活動を通して習得させる。自立した消費者として消費生活の知識を身につけ、生涯を見通した生活の充実向上を図る能力と社会に主体的に関わる実践的な態度を育成する。				情報に関する科学的な見方や考え方を養い、それらが果たす役割や影響を理解させることによって、情報社会で適正な活動を行うために基になる考え方を身に付けさせ、情報社会に参画する態度を育てる。				
学年共通						かかわる	もどめる	はたす	各学年指導目標											
指導内容	① 黎明生としての誇りをもった挨拶					◎		○	1年	○ 自分の生き方と将来の進路について具体的に考え、目標の達成に向かって努力する姿勢を育む。 ○ 高校生活のサイクルに慣れ、心身ともに健康な日々が送れるよう、基本的な生活習慣の確立を図る。 ○ 学習や部活動、学校行事などを通して、互いを認め合い、仲間と協力し合いながら調整力や対応力、コミュニケーション能力を養う。 ○ 早い段階で自らの学習スタイルと学習習慣の確立を図るとともに、進路を見据えて学習に取り組む姿勢を身につける。										
	② 黎明生としての誇りある身だしなみ					○		◎												
	③ 校舎内外の美化意識の向上					○	○	◎	2年	○ 生徒一人一人が基本的な生活習慣を確立させ、自立して互いを尊重し、安心して学べる学年・学級づくりをする。 ○ 学習活動や学校行事、部活動に自主的・主体的に取り組む、他者と協調しながら人間力を高めようとする姿勢を育成する。 ○ 自分の生き方や進路について主体的に考え、目標を具体化させてその実現のために学習活動・キャリア活動に励む姿勢を育成する。										
	④ 学習と部活動の両立					○	○	◎												
									3年	○ 生徒が安心して学べる学年・学級づくりをするとともに、集団の一員としての責任を果たしながら共に高め合う意識を育成する。 ○ 自身の将来像を意識しながら明確な進路目標を設定させ、それに向けて必要な取り組みを考え主体的に学習に取り組ませることで、学力を向上させる。 ○ 高校生活のあらゆる行事・学習活動に自主的・主体的に取り組む、充実感と達成感を得ながら着実に成長しようとする姿勢を育成する。										
指導内容						ねらい				指導教科等		実施時期		時数		かかわる	もどめる	はたす		
1年	進路com I					卒業後の進路について理解させ、多様な進路希望に応じた適切な文理選択・科目選択について確認する。				特別活動		5月		2			◎			
	大崎耕土フィールドワーク事前学習					大崎耕土を基調とする講演を聞き、地域への興味関心を喚起し、課題設定力を養う。				総合的な探究の時間(SS探究Ⅰ)		5月		2			◎			
	進路comⅡ					グローバル化する世界の中で、どのように社会貢献し、その中で自分のキャリアをどう積み上げていくかを考える機会とする。				特別活動		7月		1		○	◎			
	大崎耕土フィールドワーク					大崎耕土を題材に地域に存在する課題を見つけ、その課題について研究を推進する。				総合的な探究の時間(SS探究Ⅰ)		6月		7		○	◎			
	進路comⅢ					外部講師を招き、学習時間確保や学習方法について振り返り、次年度に向けて進路意識を高め、具体的な行動への機会とする。				特別活動		10月		2			◎			
	進路comⅣ					進学や就職などについて具体的に考えることにより、将来豊かな人生をよりよく過ごすために、今しなければならぬことを深く考える機会とする。				特別活動		11月		2			○			
	進路comⅤ					1年間の学習について振り返り、今後の学習のあり方について考えさせ、学習成績向上に向けての講義を行う。				特別活動		2月		1			○			
進路comⅥ(合格体験講話)					大学で学ぶ先輩や大学合格者の話を聞き、進路について考えを深め、進路目標設定の参考にする。				特別活動		3月		2		○	○				
2年	進路com I					進路希望と科目選択について、進路希望先の学部学科の内容と受験科目の確認、最新の入試情報や受験生になる心構えなどを知る。				特別活動		5月		2			◎			
	進路comⅢ					修学旅行が終了し、3年生0学期として受験生としての自覚を持ち、希望進路に向けて本格的に取り組んでいく機会にキャリア意識を醸成する。				特別活動		12月		1		○	◎			
	進路comⅤ(合格体験講話)					大学で学ぶ先輩や大学合格者の話を聞き、進路について考えを深め、進路目標設定の参考にする。				特別活動		3月		2		○	○			
	進路comⅥ					進路別(大学・看護医療系進学・専門学校・就職)にガイダンスを行う。今後の取り組みについて確認する。				特別活動		3月		2			◎			
3年	進路comⅠ・Ⅱ					入試制度についてのガイダンスと昨年度の入試結果から、各自の希望進路について確認する。				特別活動		4・5月		2		○	◎			
	進路comⅢ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ					入試制度の確認や志望校及び併願校決定までの具体的な指導を実施し、進路決定までのシミュレーションの機会とする。				特別活動		6・7・9・11月		5		○	◎	○		
												合計時数		33						